

目次

はしがき	1
目次	2
第1章 ダブルケアとは	5
第1節 ダブルケアの定義	6
第2節 なぜ、ダブルケアか ダブルケアの何が問題か	9
第3節 多世代型・包摂型・自治型・地域包括ケアシステム	10
第4節 磁石としての「ダブルケア」	11
第2章 ダブルケアの実態	13
第1節 十人十色のダブルケア（事例の紹介）	14
第2節 ダブルケアラーの抱える負担感・ジレンマ	36
1. 精神的負担とジレンマ	36
2. 身体的負担	38
3. 経済的負担	40
4. ダブルケアという価値	41
第3節 支援につながりにくいダブルケア	42
1. ダブルケアの複雑さ	42
2. ダブルケアラーの相談しづらさ	43
3. ダブルケアの自覚	45
第3章 ダブルケアラーへの支援展開	47
第1節 ダブルケアラーの支援ニーズ	48
1. 負担軽減・生活安定のためのサービス・サポートの体制	49
2. 自助力を高めるサポート	53
3. チームとなって支える包括的な相談支援	57
4. ケアの受け手にも支え手にもやさしい社会環境づくり	59
第2節 初動期における機関の対応	61
1. “受け止める” 窓口対応	61
2. 潜在するダブルケアラーをみつけるアウトリーチの取組	63
第3節 横断的・継続的な相談支援	69
1. ダブルケアに関する相談支援の基盤づくり	69
2. 活用できる主な制度・サービス	71

3. 家族全体を捉えた包括的なマネジメント	74
4. 多分野に跨る情報共有とコーディネーション	89
5. 支援の軸となるチームアプローチの展開	90
第4章 地域に根ざしたダブルケア支援の取り組み	95
第1節 ダブルケア支援の萌芽	96
1. 調査研究から表面化したダブルケアラー	96
2. ダブルケアラーの声を聴いて	97
3. ダブルケア座談会を開催	98
4. 共感の場づくりとテレビ報道の影響	98
5. クラウドファンディングにチャレンジ	99
6. 冊子作りと養成講座	99
7. 次のステップへ	101
第2節 行政におけるダブルケア支援の取り組み	104
1. ダブルケア問題の表面化と国の動き	104
2. 行政のダブルケア支援の動き	105
3. 新しい地域ケアシステムの構築に向けて	108
第3節 市民活動におけるダブルケア支援の取り組み	109
1. “人とのつながり” をいかしたボトムアップの支援活動 （岩手県奥州市：岩手奥州ダブルケアの会）	109
2. 大学とつながり、地域の協力を得ながらの支援活動 （愛知県名古屋市：ダブルケアパートナー）	113
3. 多世代・多分野協働の機会をつくる中間支援組織 （東京都杉並区：NPO 法人こだまの集い）	124
第4節 個別ニーズから地域課題へ～熱田モデルを例に～	132
1. 熱田モデルの始まり	132
2. 熱田モデルの展開	133
3. 熱田モデルの特徴	136
4. 地域課題へと展開するための動きかけ	138
5. カギを握るコーディネーターの役割	141
むすびにかえて	143